

たCO<sub>2</sub>を  
期間固定す  
、外壁材の  
出して提示  
エクセラ  
使用した場  
あたりのC  
約4・8%

ニューやパ  
に対応した  
ーを搭載し  
年の健康志  
える。

プンのドア  
重ガラス構  
用し、ガラ  
の温度上昇  
する。清掃  
オープン庫  
ヒーターが  
るリフトア  
統採用した  
面に油污れ  
にくくなる  
ディングを  
を高めた。  
ッチンのカ  
どの調和を  
大理石にマ  
めのホワイ  
シネスに最

セルロースファイバー  
断熱材を扱うデコス(山  
口県下関市、安成信次社  
長)は、埼玉県飯能市の  
大河原工業団地内に「デ  
コス関東工場」を設立し  
た。山口工場に次ぐ2カ  
所目の工場で、関西以东  
地域に断熱材(デコスフ  
アイバー)を供給する。  
同社の断熱材事業は、

住宅の高断熱化に伴い順  
調に拡大を続けており、  
山口工場の製造能力が限



2ヵ所目となるデコス関東工場。工場棟のほかに事務所棟(写真手前)を構える。工場棟内には見学スペースや「デコスドライ工法」の施工研修が行えるスペースを設けた



あいさつする安成信次社長

## 生産能力1・5倍に、断熱材需要増に対応

### デコス・関東工場を新設

界に近づいていた。新工場を稼働させることで生産能力は約1・5倍(年間約4500ト)となる。東西で製品の安定供給体制を整え、2020年の住宅の省エネ基準義務化による断熱材需要の増加にいち早く対応する。

関東工場は、年間約2500トの断熱材を製造する。同社製品は、新聞紙をリサイクルするセルロースファイバー系の断熱材で、断熱性能のほか、調湿性能や吸音性能などの特徴を持っている。

同社は、全国63社の施工代理店制度(FC制度)を展開。断熱材と乾式吹き込みによる工法「デコスドライ工法」をセットにしたメーカー責任施工を強みとする。施工棟数は、年間約3800棟で、国内の戸建て木造住宅供給量の1%のシェアにあたる。安成社長は竣工式で「新工場の稼働を機にシェア3%獲得を目指したい」とあいさつし、事業拡大に力を入れる。

適なダークな色調のグレーメタリックの2色のトッププレートを用意した。トッププレートの多色展開は、同社初となる。

参考価格は、35万700円(税込み、HT-H100HTF、幅60寸)から、月産生産台数は4000台に設定した。

ラー収納内部にコンセントを設けており、電動歯ブラシなどの電化製品を収納したまま充電できるよつにした。

ガス、ガラス材料などの原燃材料の価格上昇に加えて、急激な円安の影響が製造コストの増加要因となっていた。同社は、

# 刷版 2012年版

## 宅産業界唯一の縮刷版刊行 成24年1年間の情報を収録

動向、行政動向などをマクロ的、ミクロ的に報道、評論、解説する「住宅産業新聞」では、業界唯一の縮刷版として、平成24年1年間の情報を網羅した2012年版縮刷版を刊行しました。

ディアという新聞の形態上の課題に対応し、記録性をも新たな価値した。平成24年版は、消費税を中心とした税制への提言等がキャンして盛り込まれています。また、各月の住宅着工動向をはじめ、さ資料も掲載されています。過去の情報を記録・保存し、分析を行う新たな展開の糸口をつかんで頂ければ幸いです。



ンパーのお知らせ 第25巻(平成17年版)～第31巻(平成23年版)

最新刊